



普通高等教育“十一五”国家级规划教材
新世纪高等学校日语专业本科生系列教材

总主编 谭晶华

日语视听说

主编 ◎ 陆留弟
编著 ◎ 俞水芳 陆留弟

前瞻性与创新性并重：
符合21世纪日语人才培养需要，引领中国日语教学潮流。

代表性与权威性兼顾：
全国20余所高校参与编写，日语界近百位专家精心奉献。

系统性与呼应性结合：
涵盖高校日语专业各类课程，形成相互呼应的有机整体。

外语教学与研究出版社
FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS



附光盘



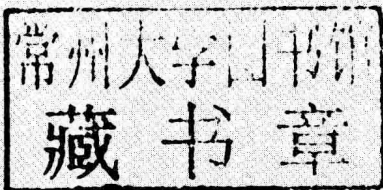
普通高等教育“十一五”国家级规划教材
新世纪高等学校日语专业本科生系列教材

总主编 谭晶华

日语视听说

主编 © 陆留弟

编著 © 俞水芳 陆留弟



图书在版编目(CIP)数据

日语视听说/陆留弟主编;俞水芳,陆留弟编著. —上海:
上海外语教育出版社,2012
(新世纪高等学校日语专业本科生系列教材)
ISBN 978-7-5446-2433-6

I. ①日… II. ①陆…②俞… III. ①日语—听说教学—高等
学校—教材 IV. ①H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2011) 第 151890 号

出版发行: **上海外语教育出版社**

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-65425300 (总机)

电子邮箱: bookinfo@sflep.com.cn

网 址: <http://www.sflep.com.cn> <http://www.sflep.com>

责任编辑: 王 俊

印 刷: 同济大学印刷厂

开 本: 787×1092 1/16 印张 10 字数 191千字

版 次: 2012年6月第1版 2012年6月第1次印刷

印 数: 3 000 册

书 号: ISBN 978-7-5446-2433-6 / H · 1124

定 价: 23.00 元 (附光盘)

本版图书如有印装质量问题,可向本社调换

新世纪高等学校日语专业本科生系列教材编委会

总主编：

谭晶华

编委：(以姓氏笔画为序)

王 勇 浙江工商大学
王健宜 南开大学
叶 琳 南京大学
皮细庚 上海外国语大学
许慈惠 上海外国语大学
纪太平 厦门大学
杨诒人 广东外语外贸大学
严安生 北京外国语大学
吴 侃 同济大学
吴大纲 上海外国语大学
陈 岩 大连外国语学院
张 威 清华大学
陆留弟 华东师范大学
庞志春 复旦大学
胡振平 解放军外国语学院
修 刚 天津外国语学院
洪栖川 东北师范大学
高 宁 华东师范大学
高文汉 山东大学
宿久高 吉林大学
谭晶华 上海外国语大学

总序

21 世纪是一个国际化的高科技时代,也是一个由工业社会进一步向信息社会转化的时代。科学技术的高速发展、新兴交叉学科的涌现、人文文化与科学技术间的相互渗透和融合、社会的信息化以及知识、信息传播技术的日新月异加强了世界各国文化的交流、碰撞与合作。要想在激烈的世界竞争中立于不败之地,就要占领人才培养的制高点,培养出世界一流的高素质、高水平人才。

由于社会对外语人才的需求已呈多元化趋势,以往那种单一外语专业的基础技能型人才受到挑战。今后我们仍然需要培养《源氏物语》的专门研究家,但是高校外语专业的教学必须从过去的“经院式”人才培养模式向宽口径、应用性、复合型人才培养模式转化。社会要的不光是懂外语的毕业生,还需要思维敏捷、心理健康、知识广博、综合能力强的精通外语的专门人才。

我国的外语教学界已充分认识到,对国家建设发展急需的外语专业人才加大培养力度,提高其能力和素质是一项迫在眉睫的任务。随着我国日语专业教学点设置的不断增加和招生规模的逐年扩大,日语专业本科生的教学改革、学科建设及教材出版亦取得很大的成绩,各地先后出版了一批在全国有影响的优秀教材。正因为社会对日语人才的培养提出了更高的标准,同时对日语学科的建设也提出了新的要求,因此,日语本科生教材的编写和出版也应该顺应潮流,开拓创新。

我国外语教材和图书出版的基地、领头羊之一的上海外语教育出版社(外教社)以高度的责任感和高瞻远瞩的视野,在充分调研的基础上,抓住机遇,于 2003 年 8 月邀请了全国主要外语院校和教育部重点综合大学日语专业的近 20 位专家,在上海召开了“全国高等学校日语专业本科生系列教材编写委员会会议”。代表们完全认同编写“新世纪高等学校日语专业本科生系列教材”的必要性、可行性及紧迫性,并对编写立意、教材构建、编写审校程序提出了许多积极、中肯的建议和要求。之后,外教社又多次召开全国及上海地区专家学者会议,分头撰写编写大纲,确定教材类别、项目,讨论审核样稿。经过两年多的

努力,终于迎来了第一批书稿的付梓。

本套教材共分语言知识、语言技能、语言学与文学、语言学与文化、语言学与翻译(中日对译)、人文科学、经济贸易、测试与教学法等若干板块,可以说几乎涵盖了当前我国日语专业所开设的全部课程。编写内容根据因材施教的原则,深入浅出,反映各个学科领域的最新研究成果;编写体例采用国家最新有关标准,力求科学、严谨;编写思想贯彻了在帮助学生打下扎实的语言基本功的基础上,培养学生分析和解决问题能力的原则,全面提高学生的人文、科学素养,养成健康向上的人生观,成为合格的外语专门人才。

本套教材编写委员会云集了我国日语界学者专家,其中不少是高等学校外语专业指导委员会的委员。每一种教材均由编写委员会的专家们仔细审阅后确定,有的是从数种候选教材中遴选,总体上代表了中国日语教材学发展的方向和水平。我们相信,外教社这套“新世纪高等学校日语专业本科生系列教材”的编写和出版,一定会促进和提高我国日语专业本科中教学质量的稳步提高,其前瞻性、先进性和创新性也将为日语教材的编写拓展更为广阔的视野。

谭晶华

上海外国语大学常务副校长

前言

这本《日语视听说》，是普通高等教育“十一五”国家规划教材。也是普通高等教育“十一五”国家规划教材《日语听解教程》第1~5册的一个续篇。它既可用作日语专业高年级的视听说教材，也可作为三年级第二学期的听解教材使用。

恕我直言，目前我国高等院校日语专业的视听说教材大多采用现成的视听资料作为素材，语音也大多以电视播音为主，因此在教材的题材、情景、趣味性和真实性等把握上略显不足。同时在教材的编排设计上，或因繁琐而失其效率，或因视听说三者不能做到有机的结合而失其统一。

我认为视听说题材既要体现多样性、鲜活性 and 现实性，又要彰显语言的真实性。为此，我在日本京都国际日本文化研究中心访学期间，和几位志同道合的朋友合作拍摄了一些直接反映日本社会，尤其是享有千年古都称号的京都市街区的视频，此外还进行了多组在校大学生的现场采访，经过后期编辑制作，才有了这些奉献给日语教育界的视频资料。这些反映当今日本社会方方面面的视频内容，有助于日语学习者直面日本，并从日本同龄人的视角，了解当代日本青年对日本社会文化以及人生的思考。从这个意义上来看，本教程在体现鲜明的时代性、原汁原味的日语、年轻人的追求与理想等方面同以往的视听说教材有所不同，所以视听起来能给学习者带来亲和力。

语言是交际工具，学是为了用，才叫学以致用。但要用好这个工具，必须掌握语言交际的多种目的和功能，诸如请求、建议、劝告、命令、邀请、希望、许可、拒绝等，在此基础上掌握语言的交际能力。语言交际活动中的视、听、说是培养语言交际能力的不可或缺的“三部曲”，其中“视听”是获取可理解输入的过程，“说”是在可理解输入基础上的语言输出。为了达到这种“统一”，有效克服日语专业高年级学生普遍感受到的“说”的瓶颈，我们在教材的编排设计上，有意识地划出视听前、视听中、视听后三个板块，目的是为了提提高日语教学的效率，做到学了就能用。

教材虽是课堂教学的核心，但不是唯一的。到目前为止，我们外语类的多

数教材均在‘教什么’上花足功夫,而缺失的恰恰是‘怎么教’的理念。因为课堂教学的组织者是教师,教师如何发挥自己的主观能动作用,这一点十分重要。尤其是外语教学,倘若一味的照本宣科,那就培养不出具有良好外语交际能力的外语专业大学生。因此怎样来用好教材就显得更为重要。我想我们不要被教材所摆布,而是要积极地去摆弄它。就是说,如何以自己更加专业的水准去摆弄它,这将成为考量我们自身业务能力的一块试金石。

本教材从构思到制作整整花了四年多的时间,倒不是出于我的懒散,而是在如何使用这些视频材料等方面发生了一些问题。关键时刻上海外语教育出版社和J. TEST实用日本语检定中国事务局及华师大外语学院分别在出具证明和资金等方面给与了大力的支持,使得本书的编写过程得以比较顺利的进行和完成并付梓出版。特别值得一提的是,本教程的主要编写者俞水芳是我曾经的研究生,他主要从事日语语言学的研究,现供职于上海旅游高等专科学校日语学科,是一名从教日语十几年的骨干教师。我们的日本友人大原圣兰女士为本书进行了十分仔细的校对,在此,我要为本书在出版过程中所有帮助过我,鼓励过我,资助过我的人说一声:谢谢!

最后还要说一句,我认为日语是可以学好的,但是在教与学的过程中必须摒弃浮躁的情绪。

陆留弟

于闵行外语学院研究室 209

2012年4月19日

使用说明

《日语视听说》是普通高等教育“十一五”国家规划教材。也是普通高等教育“十一五”国家规划教材《日语听解教程》第1~5册的一个续篇。它既可用于日语专业高年級的视听说教材,也可作为三年级第二学期的听解教材使用。

使用时可按视听前、视听过程中和视听后三个板块进行教学。我们在视听前板块中采用单词、句子、段落这种“自下而上”的可理解输入模式,目的是为了增强对视听话题和内容的理解;视听过程板块中,我们以上下文、情景等“自上而下”可理解输入模式,利用背景知识,在视听的同时进行预测及推测来理解所听内容的意思(即第一次输出),在此基础上完成第二次输出“概说”和“仿说”,输出的是视频中人物对该话题的理解;视听后板块要求学员在吸收前两个阶段可理解输入的基础上,根据教材的提示,在语言习得与思想交流两个层面上,最终创造性地完成关于该话题的第三次输出。

一、教材特色

1. 原创音频视频资料。题材上选用时下年轻人比较关心的话题,容易引起共鸣。包括爱好、学业、就业、传统文化、环保减排、交通整治、生态保护等热门题材,充满人文关怀和博爱精神,有助于跨文化交际能力的提升。
2. 每一课都由“视听前”、“视听中”、“视听后”3个步骤构成,将视听学习策略引进到视听说课程当中。
3. 在循序渐进地增强可理解输入的基础上,逐渐地提升输出(“说”)的水平,从一开始对相关话题的简单印象描述,最后过渡到特征与发展过程等的深度阐述,一步一步一个台阶地完成。
4. 输入(“视听读”)与输出(“说”)有机融合,简练统一,操作性强。

二、教材构成

1. 本教材由课文、录音文字及参考答案,视频资料三部分构成。
2. 本教材课文共有16课。其中,第3课和第15课各有两个较短视频同属一个主题,其他都是一个比较完整的视频,视频长度在5到8分钟左右。
3. 每课分为:“聞く前に”(视听前)、“では、聞きましょう”(开始视听)、“もう一度聞きましょう”(再视听一遍)、“聞いたあとで”(视听之后)四个部分。

三、教学参考

本教材每课用两课时(90分钟)学完,以下为教学参考。

1. “聞く前に”课时分配 20 分钟。其中,“A 関係語彙”与“B 専門用語 & その他の言葉”共用 5 分钟左右;“C 背景知識”5 分钟;“D 議論”10 分钟。

该部分的词汇与文章都与本课话题相关,要求学员在阅读朗读的基础上,激活背景知识,选择相关议题用日语大胆议论,以期充分热身。

2. “では、聞きましょう”为第一遍视听,课时分配 20 分钟。首先,通过 A 的图示,了解该视频的主配角或主题,然后,通过回答 B 中的小提问,让学员有意识地使用“预测”、“推测”、“选择自己所需信息”、“监控”等听解策略,把握大致内容并输出自己对该话题的初步理解。
3. “もう一度聞きましょう”为第二遍视听,课时分配 25 分钟。根据视频长短,将它划分为 3 至 5 个小段来细听,边视听边完成该小段的答题。其中一道为填空完成句子并仿说题,通过模仿不同地方不同身份人士的话语,体会现实生活中日语的真实面貌及其多样性。
4. “聞いたあとで”为纯“输出”阶段,课时分配 25 分钟,其中,“A グループ練習”(小组练习)15 分钟,“B ペア練習”(结对练习)10 分钟。为了更有效地利用课堂时间,建议教师事先布置好作业让学员在课前备好相关材料。小组练习时,可以 5 人一组,务必每人都发表 2 到 3 分钟。教师重点指导相关话题的交际功能语块在学生输出过程中的灵活运用。

以上使用说明,仅为参考意见,根据不同对象,教师可以调整课时分配与授课顺序。比方说,可以先视听后检视背景知识,目的只有一个,就是要充分调动学员的主动性和积极性,以实现可理解输入与输出的最大化。

为了本书的最终出版,中日两国诸多有识之士献出了辛勤的劳动,在此深表感谢。衷心希望本教材能为提高学生的日语交际能力尽绵薄之力,恳请诸位读者多提宝贵意见。

最后我要特别感谢陆留弟教授为我提供了这样一个平台,使我有机会在这一领域深入研究。谢谢陆老师!

俞水芳

2011 年 4 月

目 录

使用说明	i
第 1 課 「CLACICA」サッカーサークル	1
第 2 課 アジサイ園	7
第 3 課 飲 食	13
第 4 課 お坊さんを目指して	19
第 5 課 黒谷の女	25
第 6 課 京都の花街文化 舞子は今	31
第 7 課 外来魚による琵琶湖の生態系の破壊の現状	37
第 8 課 京都の駐車禁止問題	43
第 9 課 佛教大学のゴミの現状	49
第 10 課 箏曲部——定期演奏会へ	55
第 11 課 冬の風物詩 京都大根炊き	61
第 12 課 保健医療技術——新学部	66
第 13 課 学園祭におけるエコ食器	72
第 14 課 よさこいサークル「紫踊屋」	79
第 15 課 指標生物	84
第 16 課 アルティメットサークル「サリアン∞ジョセフ」	91
录音文字	97
参考答案	137

第1課 「CLACICA」サッカーサークル



聞く前に

A 関係語彙

- ゴールキーパー (Goal Keeper): ゴールを守る選手。
- ディフェンダー (DF): 主に後方で守備を行う選手。
- ミッドフィールダー (MF): 主に中盤で守備と攻撃とをつなぐ選手。
- フォワード (FW): 主に前線で攻撃を行う選手。
- キック: ボールを蹴ること。
- ヘディング: 頭を使ってボールを扱うこと。例えば、頭にボールを当ててパスやシュートを行う。
- シュート: ゴールへ向かってボールを蹴ること。
- ドリブル: ボールを蹴りながらボールとともに移動すること。
- パス: ボールを足で蹴るなどして味方選手に渡すこと。
- トラップ: ボールを受け止めて、次の動きを行いやすい位置にボールを移動させること。
- フェイント: 相手競技者にプレーの意図を読まれないようにするための動作。
- フリーキック: 反則を犯したチームへの罰として相手チームによって試合を再開させるキック。
- ペナルティーキック: ペナルティーエリア内で反則を犯したチームへの罰として相手チームに与えられるキック。
- スローイン: タッチラインを割ったときに最後に触れた選手の反対のチームが、ボールが割った位置で頭上で両手を使ってボールを投げ入れて試合を再開する。
- ゴールキック: ゴールラインを割ったときに最後に触れた選手が攻撃側だった場合、守備側がゴールエリア内にボールを置いてキックで再開する。直接ゴールを狙ってもよい。
- コーナーキック: ゴールラインを割ったときに最後に触れた選手が守備側だった場合、フィールドの角を示すコーナーポストの位置から相手に

邪魔されない形でキックすることができる。直接ゴールを狙ってもよい。

B 次の言葉はこれから見てもらうビデオから抜き出されたものです。ビデオの内容を想像しながら、大きな声で朗読しましょう。

専門用語：

スウェーデン	サイドキッキング	トラップ	ヘディング
<small>ひぐちけんご</small> 樋口謙悟			

その他の言葉：

公式	サークル	プレーヤー	マネージャー
アップ	コード	ほぐす	引き締める
抱える	ユニフォーム	キャプテン	こだわり
メリハリ	だらだらする	飽きる	ほんま
ミニゲーム	<small>ゆうぐう</small> 優遇する	<small>そっせん</small> 率先する	存続 三回生

C 背景知識

1993年に10クラブでスタートしたJリーグは、翌シーズンから毎年、新しいクラブを加えながら発展してきました。7シーズン目の1999年には1・2部制を導入し、クラブ数は26(J1:16、J2:10)へと拡大。17シーズン目の2009シーズンは、新たに3クラブを加えてJ1、J2各18クラブによる36クラブ体制となります。

各クラブは、それぞれの地域の代表として呼称を「地域名＋愛称」とし、人々に親しまれ、愛されています。そして「ホームタウン」と呼ばれる特定の市町村において、地域社会と一体になったクラブづくり、スポーツの普及・振興に努めています。こうした理念に賛同する仲間は全国に増え、Jリーグ新加盟を目指して活動しています。

D 次のタイトルをめぐって日本語で議論しましょう

- ① サッカーの面白いところ、面白くないところ
- ② 中国のサッカー
- ③ 日中サッカーの相違点



では、聞きましょう

A ビデオの主演と共演者を知っておきましょう



主演:キャプテン樋口謙悟

共演者たち

B ビデオを見ながら次の設問に答え、内容のあらすじを把握しましょう



アップではどのようなことをするか。



サークルに参加する各自の理由は?



ミニゲームはどのように行われるか。



サッカーサークルを作ったきっかけは?



サークルを運営していく上でのこだわりは?



サークルに関してキャプテンの抱える悩みは?



キャプテンに対して思うことはありますか。



もう一度聞きましょう

エピソードA

以下の文はビデオの内容に合っていますか。合っているものには「○」、合っていないと思うものには「×」を付けなさい。

- ① () サッカー・サークル「CLACICA」は公式サークルである。
- ② () サークル名「CLACICA」はスウェーデンの友人が付けてくれた。
- ③ () 創設当初は規模が大きかった。
- ④ () 参加者は経験者ばかりである。
- ⑤ () 活動日は多い。
- ⑥ () チームのユニフォームも作っている。
- ⑦ () みんなリラックスしてアップに参加している。

エピソードB

ビデオの内容に当てはまるものを一つ選んでください。

- ① CLACICAに参加する理由として、言及していないのはどれですか。
a サッカーを習いたいから b サッカーをしたいから
c サッカーを楽しみたいから d プロ選手になりたいから
- ② ミニゲームは何人で行われますか。
a 2対2 b 3対3 c 4対4 d 5対5
- ③ この日の練習は何時間続けられましたか。
a 1時間 b 2時間 c 3時間 d 4時間

エピソードC

適当な語句を入れて次の文を完成したうえで、ビデオについて復誦しなさい。

- ① サッカーサークルを作ろうと思ったきっかけは、まず、一つ目は()
ことです。二つ目が、()
ということなので、楽しくやれたらいいなあ、
とって作りました。
- ② みんな一体となって、全員で協力していくようにコードに出て、で、楽しく、えっと、()があるように、()しないように、というのが、自分の中で、こだわりですね。

③ Q: サークルに関して、樋口さんが抱える悩みは何ですか。

A: ~~~ 一人一人、個人で、考え方が違うんで、やっぱそれをみんなうまく()かな、というのが、今でも課題だと思っています。

エピソードD

メンバーのキャプテンに対する気持ちを書き添えてください。

① 恩人

② ()。

③ ()。

④ ()。

エピソードE

今後の「CLACICA」について、キャプテンはどのように考えていますか。正しいものを選んでビデオの内容に当て嵌まる文を作りましょう。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| ① 伝ってほしいことを、 | a. サークルを続けていきたい。 |
| ② 公式のほうが優遇されるので | b. 願っている。 |
| ③ 卒業後もできれば | c. 率先してやっていきたい。 |
| ④ CLACICAがより大きく成長していくことを | d. チャンスがあれば加入したい。 |
| ⑤ 卒業後もみんな集まる機会があれば、 | e. メンバーに率先してやってもらいたい。 |



聞いたあとで

A グループ練習

グループメンバーにあなたの紹介しようとするスポーツの特徴をメモを使って説明して、メンバーに当ててもらいましょう。

メンバー	ルール	名クラブ	名選手

B ペア練習

他のスポーツやサークルをお互いに紹介しましょう。

例文：

「今からちょうど二年前、2005年6月、非公式サークルではあるが一つのサッカー・サークルが創設された。チーム名はCLACICAである。CLACICAという言葉はスウェーデン語で「お気に入り」という意味。このチーム名はキャプテンがスウェーデン好きという理由でつけられた。

創設当初はプレーヤ1人、マネージャー1人という小規模なサークルだった。初心者から経験者まで様々な人が参加し、今日ではプレーヤー20人、マネージャー3人と拡大している。活動日は週に2,3日で、練習時間は2時間から4時間と、活動日は多い。練習試合をしたり、フットサル大会に出場したりして、精力的に活動している。またチームのユニフォームも作っている。

サイドキックやトラップ、ヘディングなど基本的なことから練習が始まった。楽しみながら、リラックスしてアップに取り組んでいる。」